かさまつ

学 校 だより５号
令和 7年9月12日
宇都宮市立篠井小学校
校長 鈴木 紀子

きたえる　かんがえる　たすけあう　がんばる

夏休みが終わり、9月に入りましたがまだまだ気温の高い日が続いています。暑さ指数が高い日は外遊びができませんが、指数が低い日には業間や昼休みに校庭に子どもたちの楽しそうな声が響いています。

9月から10月にかけて、学期の区切りがあったり各種行事が実施されたりします。子どもたちが必要感をもって取り組んでいけるよう、先生方はめあてを考えたり、振り返りをしたりするための時間確保の工夫をしています。子どもたちにとって、保護者の皆様や地域の皆様との関わりも増える時期となり、いろいろとお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

1年　親子ふれ合い活動

7月17日（木）1年生の親子ふれ合い活動（昔遊び）が行われました。R5 年度までは、親子活動と松寿会（地域の方々）のふれ合い活動に分かれていましたが、昨年度から一緒に行うようになりました。さらに、篠井生涯学習センター主催の講座「輝き人生教室　館外学習」の「学校で昔あそびをしよう」ともコラボして、たくさんの方との繋がりが見られました。親子で昔遊びを体験し、地域の方々にコツを教えていただく様子が見られました。

3年　歯の健康教室

7月10日（木）2･3校時に、歯の健康教室が行われました。

口腔内の清掃や望ましい間食の取り方を身に付けたり，口腔内の健康課題を自分で見付け課題解決を図ったりするなど，積極的に口腔内の健康づくりに取り組める能力･態度を育てるために行われています。宇都宮市教育委員会･宇都宮市歯科医師会･宇都宮市歯科衛生士会主催で実施されました。毎年3 年生が対象学年です。

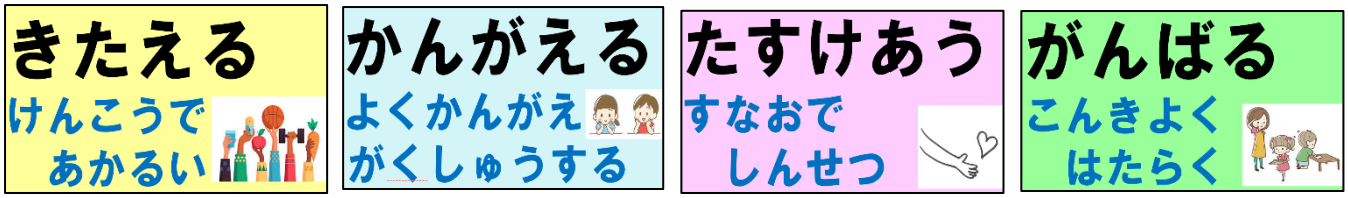
2校時にピンク色の錠剤で染め出しをしてから歯科衛生士によるブラッシング指導、3校時には学校歯科医による講話 【学校歯科医　半田良浩先生】が行われました。その後は3年担任がコーディネートし、子どもたちは、「おやつを食べる時間について」「歯磨き粉の使い方について」など、たくさんの質問を校医の先生にしていました。子どもたちの質問は途切れることがなく、関心の高さを感じました。給食後にも歯磨きタイムがありますので、食べたら磨くという習慣を身に付けていってほしいと思いました。

《篠井小校内研修》　2年　生活科で提案授業

今年度の篠井小の研究主題「主体的に学び、自分の思いや考えを伝え合う児童の育成～生活科・総合的な学習の時間を通して～」を目指し、日々先生方は授業の際の指導の工夫に取り組んでいます。年に数回は、職員みんなで共通の授業を参観してから協議をしたり、宇都宮市教育委員会等の指導の先生の講話をお聞きしたりする機会を設けています。いわば、先生たちの勉強会です。 今回は、7月17日（木）に2年担任が生活科の提案授業を公開しました。子どもたちは試行錯誤しながらおもちゃづくりをしたり、試作しながら友達と相談し合ったりしていました。その後の研修会では先生方が２班に分かれ、子どもたちが主体的に学ぶには教師はどのような環境づくりや問いかけが必要か等、話し合ったり情報交換をしたりしました。

夏休み前・夏休み後の朝会

夏休み前の朝会講話で、今年の夏休みは44日間であること、夏休みは普段できないことにチャレンジするチャンスであることを子どもたちに伝えました。その際、篠井小の4つのめあてを基に考えることを紹介しました。



夏休み後の朝会講話では、夏休みの振り返りの話をしました。「元気っ子の体力づくりにチャレンジしました。」「自由研究でいろいろ考えて、石けんを作りました。」「おじいちゃんおばあちゃんの家に行ったときに、たくさんお手伝いをしました。」「洗濯物をたたみました。」「料理を作りました。」など、子どもたちの頑張りを紹介しました。夏休み中の様々な経験を、ぜひこれからの学校生活に生かしていってもらいたいと思います。

《特色ある学校づくり》　みどり活動

本校では、豊かな心でたくましく生きる児童を育むために、みどり活動を積極的に推進し、自然への理解と自然愛護の心や態度の育成、勤労生産・収穫の喜びや豊かな人間性を育むことを目指しています。9月4日（木）縦割り班（ふれあい班）で業間にスケートリンク内に集まり、ニンジンの種をまきました。今年度は、「ポタジェガーデン（フランス語で家庭菜園）」としてスケートリンク内の実用と鑑賞の活用を図ります。

PTA 奉仕作業・学校林下草刈

前日の台風の影響が心配でしたが、晴天の朝を迎え９月６日（土）に校庭や中庭の草むしりが実施されました。同時に、顧問会の皆様（元 PTA 会長）が学校林の下草を刈ってくださいました。篠井小をきれいにする活動にご協力いただき、ありがとうございました。